

会 議 録

1 会議名

令和4年度第3回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

（1）地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

（2）令和4年度地域活動支援事業の審査結果について

○自主的審議事項

（1）住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年5月31日（火）午後7時から午後8時34分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、
外立正剛、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、大島次長、小林市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任

8 発言の内容（要旨）

【大島次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・秦克博委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

・挨拶

【大島次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

それでは、次第3報告事項(1)地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について、から議事を進めていく。

事務局に説明を求める。

【大島次長】

資料1から6に基づき、地域自治推進プロジェクト及び令和4年度に地域協議会から取組んでいただきたい事項について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

【吉野誠一委員】

1点お聞きしたい。地域協議会が自主的審議を行い、提案した場合、提案された内容に対する評価を誰がどのように行うのか。

【大島次長】

今のご質問は、意見書として提出した場合ということによろしいか。

【吉野誠一委員】

そうである。

【大島次長】

意見書は、これまでも運用されてきているものであり、意見書の内容に応じて事業の担当課等が検討・協議を行うことになる。

【吉野誠一委員】

ということは、これまでの意見書と同じ取扱いにより、あまり公にならないまま、担当課の中で検討・協議を行うということか。

【大島次長】

公になるかどうかという部分については、何とも申し上げられない。

以前、吉野委員から、提出された意見書を市長も見ているのかどうかというお話があったと思うが、市長が見ないということはまずない。担当課から部という流れにより、最

最終的には市長が確認したうえで判断することになる。少なくとも、課や担当者レベルで止まってしまうということはない。

【吉野誠一委員】

1 点提案する。せっかくこのような新しい枠組みを市長が導入しようとしているのであるから、提出のあった意見書等を評価する委員会のような組織をきちんとつくって、公の場で評価する仕組みづくりを考えていただけるとありがたい。

【大島次長】

この場でお答えできる内容ではないため、委員からのご意見として承り、自治・地域振興課へ伝えさせていただく。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

【中村真二委員】

今回説明のあった内容のうち、新規にあたるのは地域独自の予算の部分になると思う。それが現在制度設計中ということであり、どういうふうに予算をつけるのか分からない状況の中で新しいプロジェクトを進めないといけないのは非常に乱暴に感じる。言葉は悪いが見切り発車であると思う。どこに進んでいったらよいのかが分からない。

地域独自の予算を除くと、意見書の提出や地域を元気にするために必要な提案事業はこれまでと変わらない。新しいことと言えば、地域活性化の方向性の作成くらいのイメージしか湧かない。地域独自の予算について、決定の仕方やどういうふうに考えていけばよいかという方向性を示してもらえると、アイデアも出るかなと思うがいかがか。

【大島次長】

その点に関して、現時点で申し上げられるのは先ほど説明した内容と配布している資料の限りである。中村委員が言われるとおり、はっきりしないことに対してどう考えたらよいのか分からないというご意見はごもっともであり、安塚区を皮切りに始まった市長との対話集会でも色々なご意見が出ているようである。現時点で申し上げられるのは先ほど説明した内容と資料に記載されている内容だけになってしまうが、少なくとも安塚区で自主的審議事項として取組を進めていただいているものが地域独自の予算にも何らかの形で結び付くはずであるし、結び付けなければならないと考えている。

具体的なものをこの場でお示しすることはできないが、地域協議会の皆様には引き続き

き自主的審議事項の取組を進めていただきたい。そして、検討中である地域独自の予算の制度設計が明らかになった段階でそちらに上手く結び付けていけるように、事務局としても情報を収集しながら、随時委員の皆様へ共有させていただきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

【吉野誠一委員】

そのことに関連して1点お願ひしたい。動きがすごく性急なように感じる。明日から6月に入るというのに9月を目途にまとめてほしいというのは酷である。仮にまとめられたとしても、制度設計中で予算がつくかどうかまだ分からない状況である。

今年度は地域活動支援事業を実施しているわけであるから、来年度当初予算をつけて、その予算を見ながら、これから1年間準備期間をもらって来年9月までに提案するような仕組みをつくってはいかがか。

【大島次長】

先ほどの回答と重複してしまうが、ご意見として承り、自治・地域振興課へ伝えさせていただく。

【吉野誠一委員】

時間的に大変厳しく、酷である。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

ほかに質問等なければ、地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等についての報告は以上で終了する。

次に報告事項(2)令和4年度地域活動支援事業の審査結果についての報告に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料7、8に基づき、市職員による令和4年度地域活動支援事業の審査結果等を説明。

【松苗正二会長】

事務所から説明があったが、何か質問等あるか。

(質問なし)

特に質問等なければ、説明のあった審査結果に基づき、提案団体への結果通知や補助金交付申請等の手続きを進めてもらいたいと思う。

令和4年度地域活動支援事業の審査結果についての報告は以上で終了する。

次に次第4自主的審議事項（1）住みやすい安塚の在り方についての協議に移る。
事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料9に基づき、アンケート結果の報告書等について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、意見交換会の開催に向けて、クロス集計の方法等に関する意見のある方はいるか。

【中村真二委員】

クロス集計というのは、何か別の数字を出してもらえるということか。

【松苗正二会長】

今回資料として配布されているのは、設問ごとに単純に集計した結果をまとめたものである。今後、さらにアンケート結果の分析を進めていくうえで、性別や年代別で見た時の数字を知りたいという設問があれば、本日意見をいただきたい。

【中村真二委員】

それでは、比較的若い方の回答の状況や意向を知りたいと思っているので、問6、8、13、14について、40代くらいまでの年代別で見た時の数字を知りたい。

【松苗正二会長】

若い方に限定して集計するというよりも、基本的には全ての年代について、年代別で集計した結果を出すことになると思う。

【中村真二委員】

承知した。事務局の方で補足等あるか。

【萬羽主任】

問4以降の設問について、例えば年代別で見た時の回答の内訳を知りたいというご意見があれば、そのご意見に応じてクロス集計を行い、次回の地域協議会の際に資料としてお示しする。年代別で見る場合には、問2の選択肢になっている8区分に応じて、集計を行うことになる。

【松苗正二会長】

中村委員、そのような集計の方法でよろしいか。

【中村真二委員】

年代別の数字が見たいと思ったので、その方法で構わない。

【松苗正二会長】

年代別以外に性別によるクロス集計も可能であると思う。

ほかに意見のある方はいるか。

(意見なし)

この場で意見を出すのはなかなか難しいかもしれない。提案であるが、小委員会でまずは検討するという方法も考えられる。

吉野委員から順番に意見を伺いたい。

【吉野誠一委員】

松苗会長が提案されたようにまずは小委員会で検討し、そこで検討した結果を全体会に諮るという形をとった方がスムーズに進むと思う。

【山岸重正委員】

小委員会といっても、何の責任や権限もない小委員会では開催しても意味がないと思う。小委員会を開催するのであれば、もう少しきちんとした会にしてもらいたい。

【松苗正二会長】

内容をきちんとしてほしいということか。

【山岸重正委員】

小委員会を開催すること自体には賛成であるが、責任をもって検討・発言してもらいたい。

【松野修委員】

全体で話し合ってもすぐにはまとまらないと思うので、小委員会で検討した方がよいと思う。

【外立正剛委員】

小委員会で検討した方がよい。

【中村真二委員】

小委員会で検討することには賛成である。膨大な量のクロス集計を行うと分析が大変になるため、ある程度絞った方がよいと思う。

【新保良一委員】

40人くらい委員がいる中で小委員会を開催するのはよいと思うが、12人の委員しかいないのに8人も小委員会に出席するのでは、全体会とあまり差がないと思う。4、5人程度に減らした方がよい。

【小松光代委員】

人数を何人にするかは別としても、小委員会で検討することには賛成である。

【池田康雄委員】

自由意見の数も膨大であり、今後どのようにまとめていったらよいのか分からない。
小委員会で何回か検討した方がよいと思う。

【池田裕夫委員】

小委員会で検討することに賛成である。クロス集計は難しそうである。アンケートを集計したことがある経験者に参加してもらった方がよいと思う。人数的には4、5人程度でよいかもしれない。

【松苗正二会長】

皆さんの意見を伺った結果、小委員会で検討すべきとの意見が多数であった。人数については、4、5人程度でよいとの意見もあったが、これについてはいかがか。4、5人程度でよいと考える方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

それでは、4、5人程度とする。立候補する方はいるか。立候補する方がいなければ、私の指名でもよろしいか。

【吉野誠一委員】

松苗会長の指名で構わない。

【松苗正二会長】

それでは、吉野委員をお願いしたいと思うが、よろしいか。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

池田裕夫委員もよろしいか。

【池田裕夫委員】

承知した。

【松苗正二会長】

外立委員もよろしいか。

【外立正剛委員】

集落の方で同様の取組を始めることになっており、両方兼ねるのは厳しいので遠慮させてもらいたい。

【松苗正二会長】

それでは、中村委員はよろしいか。

【中村真二委員】

承知した。

【松苗正二会長】

石田副会長と小松委員もお願いできるか。

【石田ひとみ副会長】

承知した。

【小松光代委員】

承知した。

【松苗正二会長】

以上の方から小委員会に出席いただく。開催日はいつがよろしいか。

【村松班長】

この後、次回地域協議会の開催日を協議いただくことになるが、それも踏まえて小委員会を6月6日（月）から10日（金）までの間で開催いただきたい。クロス集計とはどのようなものかイメージが湧かない方もいると思うので、小委員会の際に実際にクロス集計を行った結果をいくつか事務局案としてお示ししたいと思う。それを参考にしながら、検討をお願いしたい。

今後、意見交換会の開催に向けて検討を進めていただくが、当初の計画よりも遅れが見られる。1日も早く意見交換会を開始できるよう、次回の地域協議会については、通常であれば第4火曜日の6月28日（火）開催となるが、1週早めて6月21日（火）開催でお願いしたい。それぞれご検討いただきたい。

【松苗正二会長】

事務局から2点提案があった。小委員会を6月6日（月）の週に開催してほしいということと、地域協議会を6月21日（火）に開催してほしいという内容である。これについていかがか。

【吉野誠一委員】

6月6日（月）までに検討して小委員会に臨むのは厳しい。

【村松班長】

6月10日（金）や翌週の6月13日（月）、14日（火）でもよい。

【吉野誠一委員】

せめて6月10日（金）にしてもらえないか。

【松苗正二会長】

それでは、6月10日（金）でいかがか。

【中村真二委員】

6月10日（金）の夜は都合が悪い。その週は前半でないと難しい。

【松苗正二会長】

それでは、小委員会は6月8日（火）開催でよろしいか。

（「はい」の声多数）

地域協議会は6月21日（火）開催でよろしいか。

（「はい」の声多数）

開始時間はいかがか。

【吉野誠一委員】

午後7時開始でお願いしたい。

【松苗正二会長】

それでは、次回地域協議会は6月21日（火）午後7時から開催とする。

【村松班長】

6月8日（火）の小委員会は何時開始か。

【松苗正二会長】

同じく午後7時開始でお願いしたい。

【村松班長】

承知した。

【外立正剛委員】

自由意見の内容をまとめた資料についてお聞きしたい。回答者番号という欄があるが、この意味は何か。

【萬羽主任】

回答者番号というのは、アンケートを集計する際に二重入力を防止するため、事務局の方でアンケート用紙にそれぞれ振った番号である。

【外立正剛委員】

承知した。

【池田裕夫委員】

回答者番号によって、地域が特定されるわけではないのか。

【萬羽主任】

あくまで二重入力を防止するために町内会ごとに適当に振った番号である。

【池田裕夫委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに意見等なければ、自主的審議事項についての協議は以上で終了する。

【松苗正二会長】

ほかに連絡事項等あるか。

【萬羽主任】

配布したチラシ等について説明。

【吉野誠一委員】

1月に報告を受けた安塚区安塚地区農業集落排水処理施設の廃止について、6月から浦川原特定環境保全公共下水道事業として供用を開始するとの話であったが、管の接続工事をしているのを見た覚えがない。予定どおり明日から供用開始となるのか。

【萬羽主任】

担当課に確認し、後日回答することとさせていただきたい。

【吉野誠一委員】

もう1点お願いしたい。大島区・浦川原区・安塚区の中学校統合についてである。先般それぞれの区で充て職になっている方が集まって意見交換会が開催され、私は安塚中学校運営協議会の会長として参加した。その後、安塚中学校運営協議会で出来るだけ予断を与えないように言葉を選びながら報告を行った。皆さんの雰囲気分からないと、いつものことながら、「個人的な考えですが」というような前置きを入れなければ答えられない質問ばかりであった。安塚中学校運営協議会で意見を集めたところ、もう少し情報が欲しいということともう少しゆっくり進めてもよいのではないかという意見も挙げられた。安塚小学校運営協議会の外立会長からのお話によると、安塚小学校では、改めて保護者にアンケート調査を行う方針になったようである。松苗会長はどうであったか。

【松苗正二会長】

私の意見は吉野委員も聞いていると思うが。

【吉野誠一委員】

地域協議会の中では何も議論していない。

【松苗正二会長】

中学校統合については、以前地域協議会の開催前に説明を受ける機会があった。その中で委員の皆さんからは、保護者や児童・生徒の意見を尊重すべきであるという意見が出されていたと思う。地域協議会の総意ではないが、地域協議会の委員の皆さんの個人的な意見としては、保護者の意向を重視すべきであるという意見が多かった。

【小林所長】

吉野委員からお話があったので、私の方から情報提供させていただく。

5月19日（木）に開催した大島区・浦川原区・安塚区の中学校の統合方式に関する意見交換会の内容等について説明。

【松苗正二会長】

ほかに意見等なければ、以上で本日の地域協議会は終了する。

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。